

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公表番号】特表2007-508551(P2007-508551A)
 【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)
 【年通号数】公開・登録公報2007-013
 【出願番号】特願2006-534408(P2006-534408)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

G 0 1 F 1/34 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/62 S

G 0 1 F 1/34 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成23年5月11日(2011.5.11)
 【誤訳訂正1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0009
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0009】

N検体成分 $\{c_1, c_2, \dots, c_N\}$ を含有する試料をイオンモビリティ分析器により分析するための方法であって、Nが2以上の整数であり、 $i < j$ ならば成分 c_i が c_j よりも低い脱着温度を有し、そして溶剤の脱着温度が c_1 の脱着温度以下である方法もこの明細書に述べられている。この方法は、試料を試料ユニット中に保持し、そして試料ユニットの温度を溶剤の少なくとも脱着温度まで調整して、脱着を可能とさせることを含んでなる。この方法は、試料ユニットの温度を c_1 の脱着温度の少なくとも温度まで調整して、これを脱着させ、そして分析のために試料ユニットからイオンモビリティ分析器まで c_1 を移送することを含んでなる。更に、この方法は、試料ユニットの温度を c_2 の脱着温度の少なくとも温度まで調整して、これを脱着させ、そして分析のために試料ユニットからイオンモビリティ分析器まで c_2 を移送することを含んでなる。N>2の場合には、すべてのN成分がイオンモビリティ分析器まで移送されるまで調整および移送の段階を繰り返す。溶剤とN成分からなる群の少なくとも1つの構成員の分割比は、分割比モジュールにより受信される分割比の指示値に従って調整され得る。